

大阪市立 市岡東中学校

所在地 〒552-0002 港区市岡元町3丁目2番18号

TEL 06-6582-8580

FAX 06-6582-0529

校長名 鍋谷 賀都緒 (なべたに かつお)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は、大阪府大阪市市岡中学校の生徒数増加により、昭和48年(1973年)に同校の分校として開設されました。

そして、翌昭和49年(1974年)に独立開校し、それ以来「知・徳・体」の調和を大切にしながら、生徒一人ひとりの成長を支える教育を実践してきました。

これまで築かれてきた伝統を大切にしつつ、未来を担う生徒たちが、社会で力強く生きていくための力を育てていきたいと考えています。

本校の教育目標を大切にし、生徒が「市岡東中学校でよかった」と思える学校づくりに全力で取り組みます。また、保護者の皆さま、地域の皆さまとも連携を深め、「市岡東中学校に通わせたい」「市岡東中学校のためなら力を貸したい」と思っていただけの学校を目指してまいります。

教職員一同、新入生の皆さんのご入学を楽しみにしています。一緒に、楽しく、学びのある学校にしていきたいと思います！

学校理念(使命)

- 安心・安全な学校
- 学力・体力の向上
- 人権尊重の精神
- ・信頼の土台づくり
- ・挑戦を恐れない姿勢
- ・子どもたちの可能性を信じること

教育目標

- よく聴き、よく見つけ、よく考えて正しく判断できる生徒になろう。
- 協力し、自主的にものごとにとりくみ、やりぬく生徒になろう。
- 心身ともに健康な、たくましい生徒になろう。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

(年度末の校内調査における)

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を83%以上にする。
- 不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(校内調査において)
- 「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を79%以上にする。
- 「学校での生活は楽しいですか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を91%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話しかけて活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を48%以上にする。
- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均

点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を64%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を55%以上にする。
- 校内調査において、「授業の内容を理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を86%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 学習者用端末にある「スクールライフノート」の活用を3回以上実施する。

●令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)	
国語	数学
61	54

【成果と課題】

平均正答率で見ると、全国と比較して国語は2.9ポイント、数学は1.5ポイント上回った。無解率は国語が1.6ポイント、数学が3.7ポイント下回っており、問題が難しくても最後まであきらめずに取り組んでいることがわかる。

・「国語」は、全国と比較して、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の領域において8%、「読むこと」の領域において1.3%上回っている。すべての項目において上回っており、文章を読んで内容を理解する力をさらに伸ばしていく必要がある。また、問題形式においては全国と比較して、「選択式」が3.4%、「短答式」が11.7%、「記述式」が5.1%上回っていた。

・「数学」は、全国と比較して、「データの活用」の領域において7.7%上回っているのに対し、「関数」の領域において4.0%下回っている。また、問題形式においては全国と比較して、「選択式」が3.6%、「短答式」が-0.8%、「記述式」が13%という

結果であった。

・国語、数学とも生徒が努力した結果である。読んで理解する力、書いたり計算したりしてその内容を表現する力、学んだことを応用して生活に関する問題に取り組む力など、どれも程度身についているので、さらに全体的にこれらの力を伸ばしていく。

【今後に向けて】

・学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組んでおり、生徒質問紙の質問内容にある「話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達のを考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていたか」の項目で、肯定的な回答が全国平均を上回るよう、自分の考えをまとめる力を育成していきたい。

・生徒質問紙より、多くの生徒は、国語や数学の勉強が好きだ、授業の内容はよくわかると前向きにうたえている。一方で、家庭学習の時間が充分ではない生徒も一部いると思われるので、自主的に継続して学ぶ力の育成にも取り組み、個に応じた学習環境も形成していく。

●令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	27.09	23.49	39.45	51.75	89.19	7.96	183.45	24.42	40.40
女子	21.83	19.37	48.17	45.29	55.29	9.02	172.10	13.29	49.53

【成果と課題】

男子は反復横とび・50m走・ハンドボール投げで全国平均を上回った。女子は長座体前屈・立ち幅とび・ハンドボール投げで全国平均を上回った。

【今後に向けて】

・保健体育の授業で、男女ともに柔軟性を高め、体力を向上させるために授業の開始時にランニング、体操、筋力ト

レーニングを取り入れている。種目により全国平均を超える成果が出ているが、授業内での運動量の増加や強度を工夫する必要がある。

・基本的な生活習慣が身に付いており登校時に遅刻する生徒はほぼいないが、保健体育や家庭科の授業でも食生活、睡眠、栄養の大切さ等、必要な知識を習得させていく必要がある。

主な学校生活のようす



▲通常授業



▲修学旅行



▲体育大会



▲文化発表会

●卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 R4年度90名、R5年度107名、R6年度99名

進路先の人数は過去3年間の累計で表示

公立高校等

旭(3)、阿倍野(3)、生野(3)、泉尾工(9)、市岡(7)、今宮工、大手前、桜和(4)、大阪わかば、OBF(3)、鹿屋島県立古仁屋、春日丘、教育センター附属、京都府乙訓、柴島(2)、工芸、高津(6)、港南造形、吹くやの花(5)、桜宮、清水谷(6)、住吉(2)、成城、大正白樺(4)、中央、鶴見商業、天王寺(5)、難波支援(2)、西野田工、汎愛(3)、阪南(2)、東(5)、東淀川(2)、東淀工(2)、日根野、福井、藤井寺、布施、布施北、港(11)、都島工(3)、桃谷(2)、守口東、八尾、山田、夕陽丘(2)、淀高(5)、緑風冠

私立高校等

アナン学園、上宮(4)、進手門学院大手前(5)、大阪、大阪信愛(8)、大阪学院大(9)、大阪学芸(2)、大阪国際(2)、大産大附(7)、大阪女学院、大阪信愛、大阪成蹊女子(2)、大阪電通大、大阪桐蔭、香々丘リベルテ、関西大学第一(2)、関大北陽(5)、近大附(4)、金蘭会(4)、奥園(13)、高知、好文学園(4)、金光藤蔭(6)、彩里工科、四條畷学園(2)、四天王寺(3)、四天王寺東、常翔学園(7)、常翔啓光、城南学園、昇陽(8)、星翔、清風(2)、清明学院、青凌、宣興(3)、宗徳学園、大商大(3)、大休大浪南(3)、智辯学園、天理、浪速(3)、梅花(3)、羽衣、阪南大(4)、東大阪大柏原(2)、プール(3)、福岡第一、報徳学園、真面目学園、明浄(2)、桃山学院(2)、夕陽丘学園(2)、早稲田摂陵

専修学校等

飛鳥未来、飛鳥未来きずな、大阪情報コンピュータ、おおぞら高等学院、近畿大阪、しんあい高等学院、第一学院(2)、天王寺学園、東明学園(2)、バンタンゲームアカデミー、ルネサンス大阪(2)、就職等(2)

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。